



ハイリスクの症例で処置・手技を学ぶ

妊娠経過・疾患別 産科救急アセスメントと ケア

※講義時間：約5時間

好評
追加開催

- 症例に沿った内容で、とても分かりやすかった。
- イメージが付きやすく、対応方法が具体的だった。
- 緊急時の判断のポイントが明確になった。

古橋 円氏 医療法人葵鐘会 産婦人科顧問

1982年名古屋大学医学部医学科卒業後、半田市立半田病院産婦人科医師として勤務。1989年名古屋大学大学院医学研究科修了。その後ワシントン大学(米国)医学部リサーチアソシエイトなどを経て、2001年より名古屋第一赤十字病院産婦人科に勤務。2017年より長良医療センター副院長・周産期診療部長。2021年より現職。日本産科婦人科学会産婦人科専門医。

録画配信

[配信開始日]

オンデマンド

21年 5/26(水)～6/9(水)

※申込締切：21年5/20(木) ※5/14以降は代金引き換えでの教材発送となります。

参加料
税込

一般 12,000円 会員 9,000円

※本セミナーは、講義時間約5時間の録画配信(オンデマンド)です。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

症例で実践的に学ぶ! 現場で求められる正しい知識・経験則に基づく判断と対応

プログラム

1. 妊娠・分娩期の産科救急 ～病態・治療・緊急時対応

- 1) 切迫早産 2) 肺水腫 3) 前置胎盤 4) 多胎
- 5) 妊娠高血圧症候群 6) 常位胎盤早期剥離(DICを含む)
- 7) HELLP症候群 8) 急性妊娠脂肪肝 9) 子癇 10) 頭蓋内出血
- 11) 下肢静脈血栓症 12) 骨盤位分娩 13) イレウス
- 14) 胎児心拍数モニタリング異常 15) 臍帯動脈血流異常

2. 産褥期の産科救急～病態・治療・緊急時対応

- 1) 子宮内反症 2) 産褥感染症
- 3) 子宮破裂・出血性ショックの治療 4) 産科DIC
- 5) 羊水塞栓症 6) 弛緩性子宮出血

ハイリスクのケースで、的確なケアを行うには救急対応時の処置および手技とは何かを知った上で、正しい知識・経験則に基づくアセスメントと判断・対応が必要となります。そこで本セミナーでは、搬送元・搬送先において分かりやすく理解いただくため、経過別・疾患別に症例を交えて治療・管理の流れを解説します。

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 150550

関連雑誌

隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

妊娠中・分娩時・出産後のケアと支援

臨床助産ケア

B5変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 17,310円(共に税込)

今後の特集

- 産む力を引き出す分娩テクニックとサポート[3-4月号]
女性の産む力を引き出す熟達助産師の経験知
会陰裂傷率が少ない助産ケア／不妊治療を経た出産のサポート
骨産道の可動に焦点を当てた産む力を引き出すポイント など
- 妊産婦の不安や疲れ解消へのアプローチ[5-6月号]

16年連続合格者数全国No.1!

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士

日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

お問合せ TEL: 0120-054977 URL: www.nissoken.com

日総研